



# 平成30年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年9月8日

上場会社名 インспек株式会社  
 コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 雅史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年7月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	353	13.3	71		79		63	
29年4月期第1四半期	311	3.0	55		62		56	

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 58百万円 ( %) 29年4月期第1四半期 88百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	21.20	
29年4月期第1四半期	21.61	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第1四半期	2,886	1,696	45.2	413.42
29年4月期	2,490	1,203	32.3	296.67

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 1,305百万円 29年4月期 805百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		0.00	0.00
30年4月期					
30年4月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	22.7	150	9.6	131		142	33.6	52.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成29年4月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期1Q	3,158,600 株	29年4月期	2,713,600 株
期末自己株式数	30年4月期1Q	31 株	29年4月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期1Q	3,008,588 株	29年4月期1Q	2,601,338 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年5月1日～平成29年7月31日）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調が続いており、個人消費にも持ち直しの動きがみられております。一方、海外においては、米国ではダウ平均株価が史上最高値を更新するなど景気は拡大基調が続いており、欧州においても堅調な推移がみられております。

このような経営環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は353百万円（前年同期比13.3%増）、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失55百万円）、経常損失は79百万円（前年同期は経常損失62百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は63百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円）となりました。

なお、当社は平成29年9月1日付で、東京証券取引所市場第二部へ市場変更致しました。今後も中期的な成長のための体制を強化しながら、全社一丸となって取り組んでまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますA V I（自動最終外観検査装置）及びA O I（プリント基板のパターン検査装置）の引合いや受注は引き続き堅調に推移しております。また、当社が戦略的に取り組んでおりますロール to ロール型検査装置の受注を獲得したこともあり、当第1四半期連結会計期間末における受注残高は782百万円となっております。しかしながら、現受注案件につきましては第2四半期以降に納入が多いことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は183百万円となり、セグメント損失は52百万円となりました。

#### ②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソ（基板のフィルム原版を印刷する装置）が売上を牽引しておりますが、ダイレクトイメージング装置（基板にパターンを直接描画する装置）の納入時期が遅れたことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は168百万円となり、セグメント利益は15百万円となりました。

#### ③デジタルパソロジー関連機器事業（クラーロ株式会社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、病理標本をデジタル画像化するW S I（Whole Slide Imaging）は、デジタル画像による病理検査を可能とする法整備を進めている途上であること及び保険収載の方針を見据え、新製品の開発に注力したことから当第1四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は1百万円となり、セグメント損失は37百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ395百万円増加し、2,886百万円となりました。これは主に、現金及び預金253百万円の増加、受取手形及び売掛金4百万円の減少、仕掛品114百万円の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、1,190百万円となりました。これは主に、短期借入金100百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金208百万円の減少、前受金137百万円の増加及び長期借入金133百万円の増加によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ492百万円増加し、1,696百万円となりました。これは主に、資本金273百万円の増加、資本剰余金273百万円の増加及び利益剰余金63百万円の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月期の通期の業績予想につきましては、平成29年6月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	775,728	1,029,435
受取手形及び売掛金	448,265	443,512
電子記録債権	5,702	—
商品及び製品	86,766	88,574
仕掛品	164,543	279,108
原材料及び貯蔵品	81,581	89,331
その他	34,239	61,930
貸倒引当金	△7,200	△1,235
流動資産合計	1,589,628	1,990,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	171,704	170,114
機械装置及び運搬具（純額）	25,817	81,474
土地	20,350	20,350
建設仮勘定	104,019	49,308
その他（純額）	33,755	32,991
有形固定資産合計	355,647	354,238
無形固定資産		
のれん	509,846	507,808
その他	19,166	18,068
無形固定資産合計	529,012	525,876
投資その他の資産	16,225	15,735
固定資産合計	900,886	895,850
資産合計	2,490,515	2,886,507
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	183,051	208,507
短期借入金	196,000	96,000
1年内返済予定の長期借入金	364,509	156,376
未払法人税等	50,091	24,229
製品保証引当金	32,802	25,550
賞与引当金	23,322	13,408
繰延税金負債	9,378	—
その他	91,909	198,207
流動負債合計	951,064	722,279
固定負債		
長期借入金	302,948	435,969
繰延税金負債	17,456	17,299
資産除去債務	304	304
その他	15,376	14,566
固定負債合計	336,084	468,139
負債合計	1,287,149	1,190,419

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	537,828	811,122
資本剰余金	138,361	411,656
利益剰余金	174,583	110,798
自己株式	—	△41
株主資本合計	850,772	1,333,535
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△45,736	△27,726
その他の包括利益累計額合計	△45,736	△27,726
新株予約権	44,463	49,042
非支配株主持分	353,865	341,236
純資産合計	1,203,365	1,696,088
負債純資産合計	2,490,515	2,886,507

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年5月1日 至平成28年7月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年5月1日 至平成29年7月31日）
売上高	311,818	353,276
売上原価	181,573	186,941
売上総利益	130,244	166,334
販売費及び一般管理費	186,166	237,710
営業損失（△）	△55,921	△71,376
営業外収益		
受取利息	476	6
貸倒引当金戻入額	2,446	3,600
その他	251	226
営業外収益合計	3,174	3,833
営業外費用		
支払利息	8,113	4,021
手形売却損	302	95
為替差損	1,125	5,312
その他	—	2,324
営業外費用合計	9,540	11,754
経常損失（△）	△62,288	△79,297
特別損失		
固定資産除却損	0	681
賃貸借契約解約損	—	836
事務所移転費用	—	1,377
特別損失合計	0	2,895
税金等調整前四半期純損失（△）	△62,288	△82,192
法人税、住民税及び事業税	324	8,932
法人税等調整額	△598	△9,701
法人税等合計	△273	△768
四半期純損失（△）	△62,015	△81,424
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△5,794	△17,639
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△56,220	△63,784

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日）
四半期純損失（△）	△62,015	△81,424
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△26,004	23,021
その他の包括利益合計	△26,004	23,021
四半期包括利益	△88,019	△58,402
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,975	△45,773
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,044	△12,628

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間における新株予約権（第8回新株予約権）の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ273,294千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間末において資本金が811,122千円、資本剰余金が411,656千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年5月1日至平成28年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2)
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	デジタルパソロジー関連機器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	178,978	124,310	8,529	311,818	—	311,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	178,978	124,310	8,529	311,818	—	311,818
セグメント損失(△)	△34,597	△21,689	△2,871	△59,157	3,235	△55,921

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額3,235千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年5月1日至平成29年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2)
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	デジタルパソロジー関連機器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	183,681	168,086	1,508	353,276	—	353,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	183,681	168,086	1,508	353,276	—	353,276
セグメント利益又は損失(△)	△52,108	15,882	△37,406	△73,632	2,255	△71,376

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,255千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項ありません。